

ツキノワグマの被害防止

ツキノワグマ（以下「クマ」。）は本来おとなしい動物であり、人と距離をおいて生活していますが、人と突然出会うと、驚いて人を襲うことがあります。

クマについての理解を深め、人身事故を防ぎましょう。



クマの特徴

①生態

雪解け頃から活動を始め、秋になると、冬眠を前にエサを求めて山中を活発に行動します。冬期間（12～3月頃）は山中の穴の中で冬眠します。

②食性

植物食傾向の強い雑食で、春はブナなどの新芽を、夏はアリ、ハチなどの昆虫やアザミなどの草木、秋はドングリ、カキ、クリ、アケビ、ヤマブドウなどを主に食べます。

③能力

視力はあまりよくありませんが、嗅覚は犬のように鋭く、また、聴力は人間よりずっと優れています。

強い力と鋭いツメを持ち、時速 40 km以上で走ることができます。木登り、泳ぎが得意です。

クマに出会わないために

音を出しましょう

クマよけ鈴、ラジオ、笛などで音を出すか、大きな声で話しながら歩き、人の存在をクマに知らせましょう。



明け方、夕暮れは要注意

クマの行動が活発になる朝夕に外出する際は、単独行動を避けましょう。



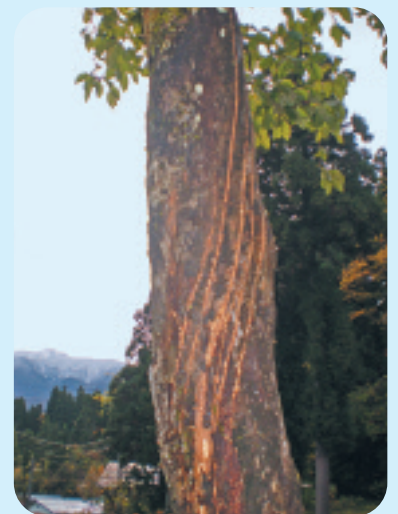
クマのサイン、子グマに注意

クマのフンや爪あとを見つけたら、近くにクマがいる可能性があります。

子グマの近くには、母グマがいる可能性があります。



▲クマによる皮はぎ



▲クマによる爪あと



▲クマのフン

クマと出会ってしまったら

★クマは逃げるものを反射的に追いかけます。

クマを刺激しないように、あわてず、騒がず、背中をみせないよう静かに立ち去りましょう。



クマを引き寄せていませんか

ごみ等は置かないようにしましょう

クマは匂いに敏感です。生ごみは特にクマを引き寄せます。屋外に置かないようにしましょう。

また、お墓の供物は放置せずにかたづけましょう。



果実等は早めに収穫しましょう

クマの好物であるカキやクリは早めに収穫し、食べる予定のないものは、早めに処分しましょう。



定期的な除草をしましょう

クマは明るく身を隠せない環境を嫌います。

集落、通学路、農地周辺の森林、荒廃地の下草や雑木の刈り払いを行いましょう。



市民のみなさまへのお願い

市内の山間地では、クマがどこにいてもおかしくありません。

人家周辺に頻繁に現れるクマについては、市民の皆様の安全を守るため、猟友会からご協力いただき駆除しています。

しかし、駆除することが被害防除の本当の目的ではありません。人里でのごみの野外放置や農作物等の誘引物がある限り、そして山林の手入れが行われないうち、クマは人里近くへまたやってきます。

集落全体の安全のためにも、ごみを放置しない等市民一人ひとりが心がけていただきますようお願いいたします。



監修 環境省希少野生動植物種保存推進員 日本哺乳類学会員

農林水産省農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー

野紫木 洋氏

問合せ先

糸魚川市役所	TEL552-1511
(農作物被害)	商工農林水産課 農業経営支援センター
(人身被害等)	環境生活課 環境係
能生事務所	振興係 TEL566-3111
青海事務所	振興係 TEL562-2260
糸魚川警察署	生活安全課 TEL552-0110